

## 熊本地震に係る横浜市立大学の対応について

熊本地震による被害を受け、大きな不安の中生活されている全ての方々に、心からお見舞いを申し上げます。横浜市立大学では、熊本地震において罹災した学生に対し、修学機会を確保するとともに大学生活の継続を包括的に支援するため、経済的・心理的な支援を提供することを決定いたしました。また、被災地に対しては、附属病院、附属市民総合医療センターより災害医療支援チームを派遣するとともに、金沢八景キャンパスを中心に学生主導による募金活動やボランティア活動を大学がバックアップする等、多方面からの支援を行ってまいります。

### 【熊本・大分出身在学生数】

		熊本県	大分県
国際総合科学部	1 年生	3 人	3 人
	2 年生	1 人	3 人
	3 年生	2 人	1 人
	4 年生	3 人	5 人
医学部医学科	6 年生	2 人	---
医学部看護学科	1 年生	---	1 人
	3 年生	---	1 人
都市社会文化研究科	博士前期 2 年生	---	1 人
医学研究科医科学専攻	修士 2 年生	1 人	---
	博士 4 年生	---	1 人
<b>合計</b>		<b>12 人</b>	<b>16 人</b>

### 1. 罹災学生に対する支援

#### (1) 経済的支援

##### ①災害見舞金（※1）

罹災状況に応じて 50,000 円ないしは、100,000 円を給付

##### ②緊急応急対応型授業料減免（※2）

罹災状況及び経済状況に応じて授業料を免除

##### ③授業料納付の猶予（※3）

緊急応急対応型授業料減免申請中における授業料納付を猶予

#### (2) こころのケア

自宅や親族等の被災により、精神的な不安等を抱えている学生に対して、本学の臨床心理士による、こころのケアを提供します。

裏面へ続く

### (3) 学業への配慮（公欠の取扱い）

2親等以内の親族が亡くなった場合や危篤状態となった場合、自宅が損壊した場合には、届出により公欠を認めておりますが、その他罹災状況に応じて個別に公欠の判断をします。

## 2. 学生発信の被災地支援の取組

ボランティア支援室の学生スタッフの発案により、4月25日（月）から学内において募金活動を開始。大学職員が募金で集まった金銭の管理をサポートする等、学生スタッフの活動を後方的に支援します。募金活動は5月末までを予定しており、集まった募金については罹災した現地の大学生支援のために寄付します。

## 3. 被災地医療支援

厚生労働省、神奈川県を通じて熊本県からの要請を受け、附属市民総合医療センターでは、DMAT（災害派遣医療チーム：6名 ※4）を派遣し、熊本赤十字病院において4月18日～21日に医療支援を行いました。また、附属病院では、熊本県・神奈川県医師会の要請により他大学・他施設と「JMAT」（日本医師会災害医療チーム※5）及び神奈川県医療救護班を結成し、医療支援活動を行いました。これまで4月18日～25日の期間で2隊を派遣しています。

被災地域の皆さまの安全と、一日も早い復旧と復興を心よりお祈り申し上げます。

お問い合わせ先			
罹災学生に対する支援、学生発信の被災地支援の取組について			
学生・キャリア支援課長	上野 修	Tel 045-787-2090	
被災地医療支援について			
DMAT 市民総合医療センター総務課長	秋元 秀臣	Tel 045-253-5302	
JMAT等 附属病院 総務課長	小田 英一	Tel045-787-2804	

## 参 考

### ※1 災害見舞金

火災・地震・風水害等により著しい被害を受けた学生に対して、所定の審査の上、10万円を限度とした災害見舞金（被害の程度により異なる）を給付する制度

### ※2 緊急応急対応型授業料減免

主たる家計支持者が死亡、傷病（入院等により3か月以上就業できなくなった場合）、失業（自己都合でない失業に限る）した場合、または1親等以内の親族又は学生本人が居住のため使用している建物が、災害等により著しい損壊を受けた場合に授業料の減免を行う制度。

### ※3 授業料納付の猶予

前期授業料の納付期限もしくは引落期限を5月7日から6月3日へ変更するとともに、その間の5月24日までに緊急応急対応型授業料減免の手続きを学生担当宛に希望した学生については、減免の審査完了まで納付を猶予。

#### 【学費】

	今回納付対象分	※参考：年間学費
国際総合科学部	278,700円	557,400円
医学部医学科	286,500円	573,000円
医学部看護学科	278,700円	557,400円
都市社会文化研究科	267,900円	535,800円
医学研究科修士課程	267,900円	535,800円
医学研究科博士課程	267,900円	535,800円

### ※4 災害派遣医療チーム（DMAT（Disaster Medical Assistance Team））

医師、看護師、業務調整員（医師・看護師以外の医療職及び事務職員）で構成され、大規模災害や多数傷病者が発生した事故などの現場に、急性期（おおむね48時間以内）に活動できる機動性を持った、専門的な研修・訓練を受けた医療チーム。出動時は、都道府県等の派遣要請を受け、DMAT指定医療機関から派遣され、活動を行う。

### ※5 JMAT

日本医師会が被災地に派遣する災害医療チーム。今回は熊本県医師会から神奈川県医師会への要請により、第1次隊では、横浜市立大学3名、帝京大学2名の計5名の合同チームを派遣し、2次隊では神奈川県医療救護班として横浜市立大学1名、済生会横浜市南部病院3名の計4名の合同チームを派遣しました。